



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 エクセル

コード番号 7591 URL <http://www.excelweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大滝 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ財務統轄本部長兼経理部長 (氏名) 川端 一

TEL 03-5733-8404

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	24,774	△45.3	354	△73.6	167	△86.5	111	△88.4
28年3月期第1四半期	45,281	△19.9	1,342	14.0	1,239	△1.4	964	△3.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 180百万円 (△69.6%) 28年3月期第1四半期 594百万円 (△21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	12.90	—
28年3月期第1四半期	111.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	62,348	22,948	36.6	2,633.04
28年3月期	67,192	22,915	33.9	2,628.34

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 22,818百万円 28年3月期 22,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,700	△46.8	910	△58.2	750	△62.2	745	△61.1	85.97
通期	100,500	△32.5	1,880	△38.4	1,580	△40.4	1,400	△39.9	161.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	9,086,755 株	28年3月期	9,086,755 株
29年3月期1Q	420,467 株	28年3月期	420,467 株
29年3月期1Q	8,666,288 株	28年3月期1Q	8,666,301 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のおわが国経済の状況は、鉱工業生産や個人消費が一進一退の状況で推移しており、全体として足踏み状態が続いています。第1四半期期末にかけての急激な円高出現による企業業績への下振れ要因もある中、昨年からの中国市場の減速傾向が継続している等、今後の先行きにも不透明感が出てきています。

こうした状況下、当社グループの属する電子部品業界では、海外市場を中心としたスマートフォンやタブレット及びその関連部品が伸び悩みましたが、一方で、自動運転技術やIoTの活用等の新規ビジネスに対応する動きも出て来ています。

当社グループにおいては、当社を取り巻く経営環境が非常に厳しい状況の中、全社をあげて構造改革を推進するとともに、事業拡大に向けた施策を「第6期中期経営計画」に基づき、既存ビジネスの深耕・拡大、新市場・新分野の開拓（第2・第3の柱の構築）に取り組んでまいりましたが、海外市場におけるスマートフォン向け中小型液晶や液晶モジュール等の需要低迷及び価格下落が続き、売上高は247億74百万円（前年同期比45.3%減）となりました。

また、各品目別の概況は次のとおりであります。

- |            |  |
|------------|--|
| (液晶デバイス)   | 国内市場におけるテレビ用途向けの大型液晶デバイスや海外市場におけるスマートフォンを中心とする中小型液晶の販売が減少したことから、売上高は107億81百万円（前年同期比51.4%減）となりました。          |
| (半導体・集積回路) | 国内市場における半導体ビジネス等の販売が微減し、海外市場におけるスマートフォン、タブレット向けを中心とするドライバーIC等の販売が減少したことから、売上高は43億45百万円（前年同期比24.7%減）となりました。 |
| (電子部品・その他) | 国内市場における電子デバイス販売が若干増加したものの、海外市場における液晶モジュール用デバイス等の販売が減少したことにより、売上高は96億48百万円（前年同期比44.3%減）となりました。             |

利益面では、売上原価234億72百万円を控除した売上総利益は13億2百万円（前年同期比46.9%減）となり、人件費5億32百万円を中心とする販売費及び一般管理費は9億47百万円であり、結果営業利益は3億54百万円（前年同期比73.6%減）となりました。

営業外収益及び費用では受取配当金23百万円、負ののれん償却額15百万円、支払利息89百万円、為替差損1億75百万円等を計上した結果、経常利益段階では1億67百万円（前年同期比86.5%減）の利益となっております。

税金等調整前四半期純利益は1億67百万円となり、税金費用等を控除して当第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は1億11百万円（前年同期比88.4%減）となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本では、テレビ用途向けの大型液晶デバイスの販売が減少し、売上高は35億68百万円（前年同期比52.8%減）となりました。アジアにおいては海外子会社によるスマートフォンを中心とする中小型液晶の販売が減少し、売上高は212億5百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の連結総資産は、623億48百万円（前連結会計年度末比48億44百万円、7.2%の減少）となりました。

資産では、受取手形及び売掛金237億9百万円を中心とする流動資産が542億98百万円で、総資産の87.1%を占め、固定資産80億50百万円が残りの12.9%を占めています。

一方、負債合計393億99百万円（前連結会計年度末比48億77百万円、11.0%の減少）のうちでは支払手形及び買掛金99億22百万円、短期借入金174億5百万円、1年内返済予定の長期借入金26億34百万円、長期借入金68億74百万円がその主なものとなっています。

純資産の部では、純資産合計は229億48百万円（前連結会計年度末比33百万円、0.1%の増加）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

### （4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,829	19,914
受取手形及び売掛金	25,449	23,709
商品及び製品	15,889	9,657
その他	738	1,028
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	58,895	54,298
固定資産		
有形固定資産	2,189	2,180
無形固定資産	15	12
投資その他の資産		
破産更生債権等	15,149	14,153
その他	6,125	5,889
貸倒引当金	△15,180	△14,185
投資その他の資産合計	6,093	5,857
固定資産合計	8,297	8,050
資産合計	67,192	62,348
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,769	9,922
短期借入金	19,737	17,405
1年内返済予定の長期借入金	2,884	2,634
未払法人税等	155	106
賞与引当金	131	77
役員賞与引当金	41	4
早期退職費用引当金	25	—
その他	773	928
流動負債合計	34,520	31,079
固定負債		
長期借入金	8,248	6,874
退職給付に係る負債	219	204
資産除去債務	6	6
負ののれん	62	46
その他	1,220	1,187
固定負債合計	9,756	8,320
負債合計	44,276	39,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,086	3,086
資本剰余金	3,126	3,126
利益剰余金	14,302	14,266
自己株式	△571	△571
株主資本合計	19,944	19,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,017	1,951
繰延ヘッジ損益	△0	33
為替換算調整勘定	802	910
退職給付に係る調整累計額	14	14
その他の包括利益累計額合計	2,833	2,910
非支配株主持分	137	130
純資産合計	22,915	22,948
負債純資産合計	67,192	62,348

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	45,281	24,774
売上原価	42,830	23,472
売上総利益	2,451	1,302
販売費及び一般管理費	1,108	947
営業利益	1,342	354
営業外収益		
受取利息	1	13
受取配当金	20	23
負ののれん償却額	15	15
その他	0	27
営業外収益合計	38	80
営業外費用		
支払利息	109	89
為替差損	27	175
その他	4	2
営業外費用合計	141	267
経常利益	1,239	167
特別損失		
固定資産売却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	1,239	167
法人税、住民税及び事業税	178	76
法人税等調整額	72	△22
法人税等合計	251	53
四半期純利益	988	113
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	964	111

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	988	113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△66
繰延ヘッジ損益	△36	34
為替換算調整勘定	△324	99
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△393	67
四半期包括利益	594	180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	571	188
非支配株主に係る四半期包括利益	23	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,559	37,722	45,281	-	45,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,096	183	1,280	△1,280	-
計	8,655	37,906	46,561	△1,280	45,281
セグメント利益又は損失(△)	75	1,418	1,493	△150	1,342

(注)1 セグメント利益の調整額△150百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	日本	アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,568	21,205	24,774	-	24,774	-	24,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,051	228	1,279	-	1,279	△1,279	-
計	4,620	21,433	26,054	-	26,054	△1,279	24,774
セグメント利益又は損失(△)	△64	423	359	△3	356	△1	354

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。